

事業計画および成長可能性に関する事項



2024年3月26日
株式会社フィスコ

CONTENTS

1 会社および事業概要

2 2023年12月期連結業績

3 成長戦略及び事業計画

4 リスク情報

会社概要



**Financial
Intelligence
Support
Company**

**最良の投資支援サービスを提供する
プロフェッショナル集団です**

商号	株式会社フィスコ		
所在地	大阪府堺市南区竹城台三丁 2 1 番 1 号（登記住所） 東京都港区南青山五丁目 1 3 番 3 号		
設立年月日	1995年05月15日		
資本金	14百万円（2023年12月31日現在）		
事業内容	金融情報配信事業 広告代理業 暗号資産・ブロックチェーン事業 投資銀行事業		
役員構成	代表取締役社長 代表取締役副社長 取締役 取締役（社外） 常勤監査役 監査役（社外）	中村 孝也 佐藤 元紀 松崎 祐之 深見 修 岡本 純子 木呂子 義之 望月 真克 加治佐 敦智 森花 立夫	

経営理念

**金融サービス業に
おける
ベストカンパニー
を目指す**

当社は、金融・投資市場に係る適切な投資判断のため、優れた調査と分析を行い、その結果を情報（＝コンテンツ）やアドバイスとして提供することによって、金融業の課題（資産の最適な配分）に応えます

**中立な姿勢と
公正な思考に
徹する**

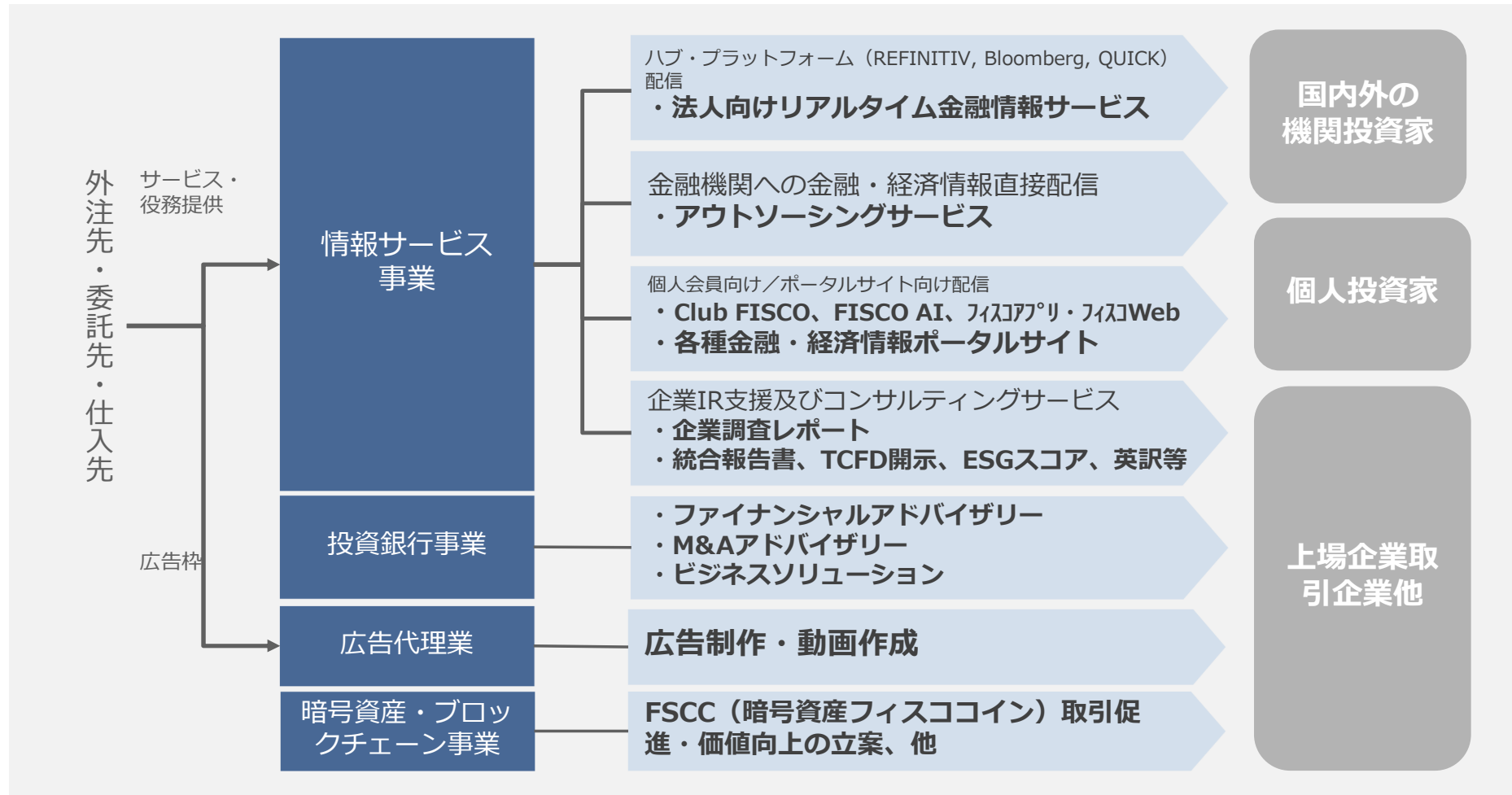
投資に際して必要とされる調査分析を行う機関には、当然のことながら専門性の高さや信頼性の厚さが求められますが、同時に中立且つ公正であることが大切な要件となります。当社は、中立且つ公正であることを経営の最重要方針としています

**個の価値を尊び、
和の精神を
重んじる**

企業が変化に対応し、困難を乗り越え、継続的に成長して行くためには、優れた「個」の能力と組織としての「和」の力が、相互に上手く融合して行くことが必要であり、調和の取れた企業環境を作り上げることが、当社の事業拡大には極めて重要であると考えます

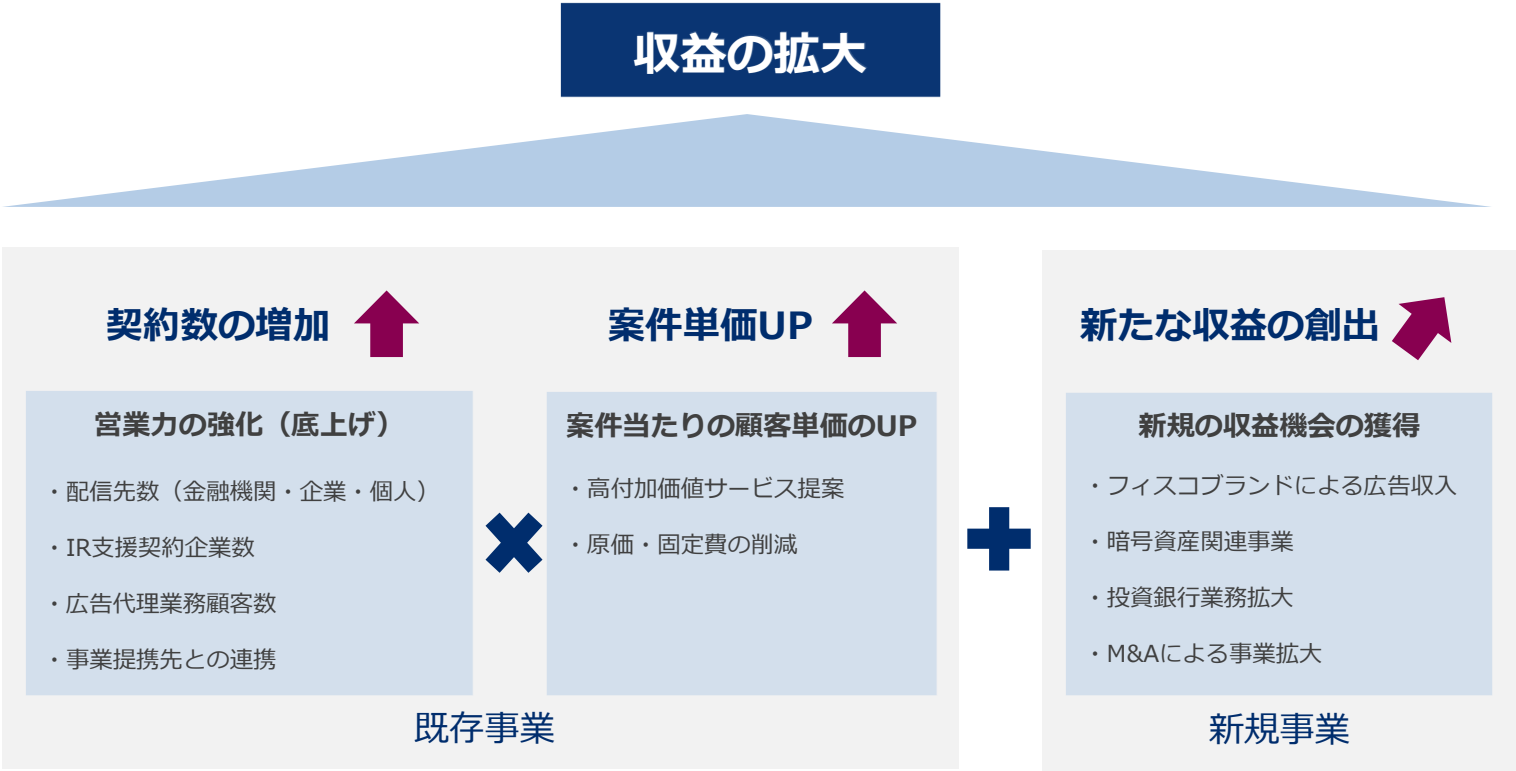
ビジネスモデル

フィスコは創業以来、「中立的な金融メディア」として金融情報配信サービスを中核に、周辺事業へ展開



収益モデル

既存事業の規模拡大、底上げによる安定した収益の確保および、新規事業での事業領域の拡大と収益の創出を図る



事業概要：情報サービス（金融・経済情報配信サービス）

金融・経済情報配信サービス

金融・経済情報ベンダーの専門端末や金融情報ポータルサイト、各種アプリなどを通して、株式、為替、経済、暗号資産などのリアルタイム投資情報コンテンツを配信

FISCO



アナリスト
マーケットレポーター
ソーシャルレポーター

リアルタイム/アウトソーシング

情報ベンダー経由で、証券会社、機関投資家等に、1日400本以上配信

ポータルサイト/プラットフォーム

Webサイト／会員向けサイトに情報配信

- ・YahooJapanファイナンスのPV数は40%以上
- ・Club FISCO等/会員数13万人
- ・アプリ登録数/約30万人



- ・専用端末
- ・Webサイト
- ・会員向けサイト



配信

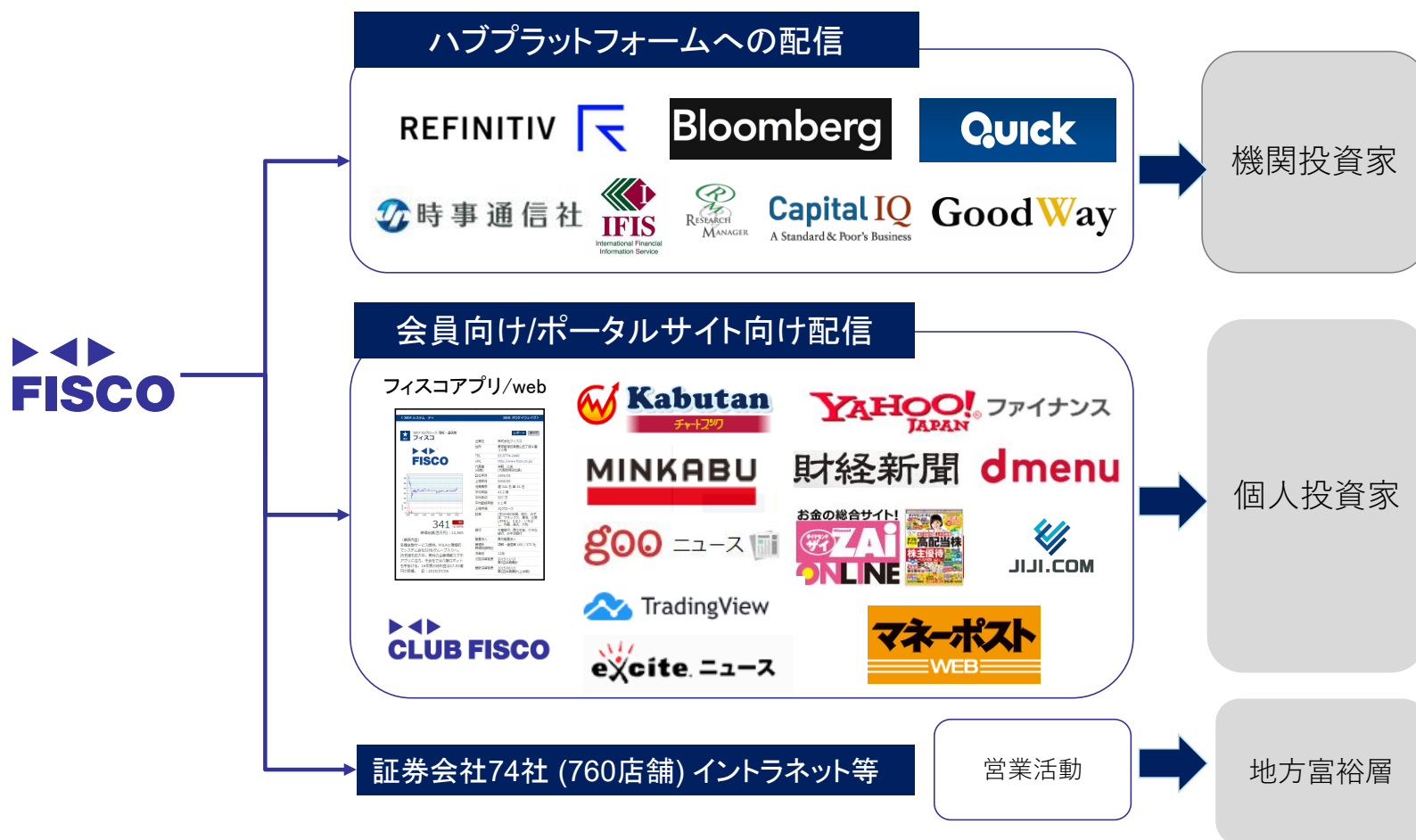
顧客

証券会社

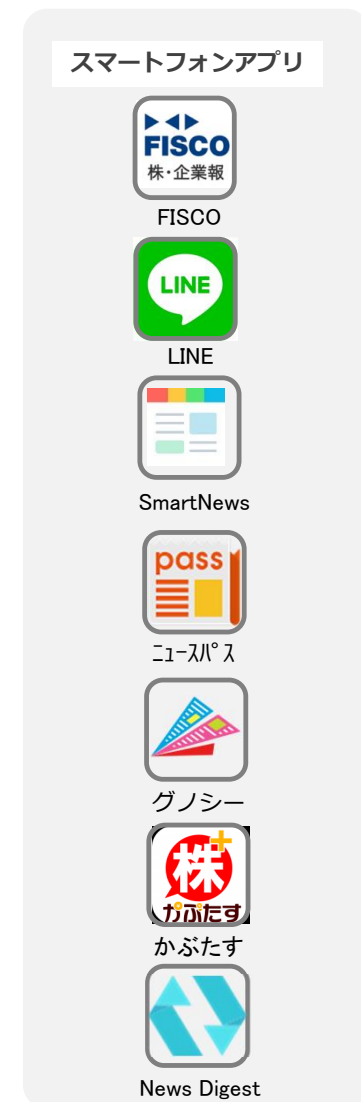
金融機関

一般投資家

配信先サイト一覧



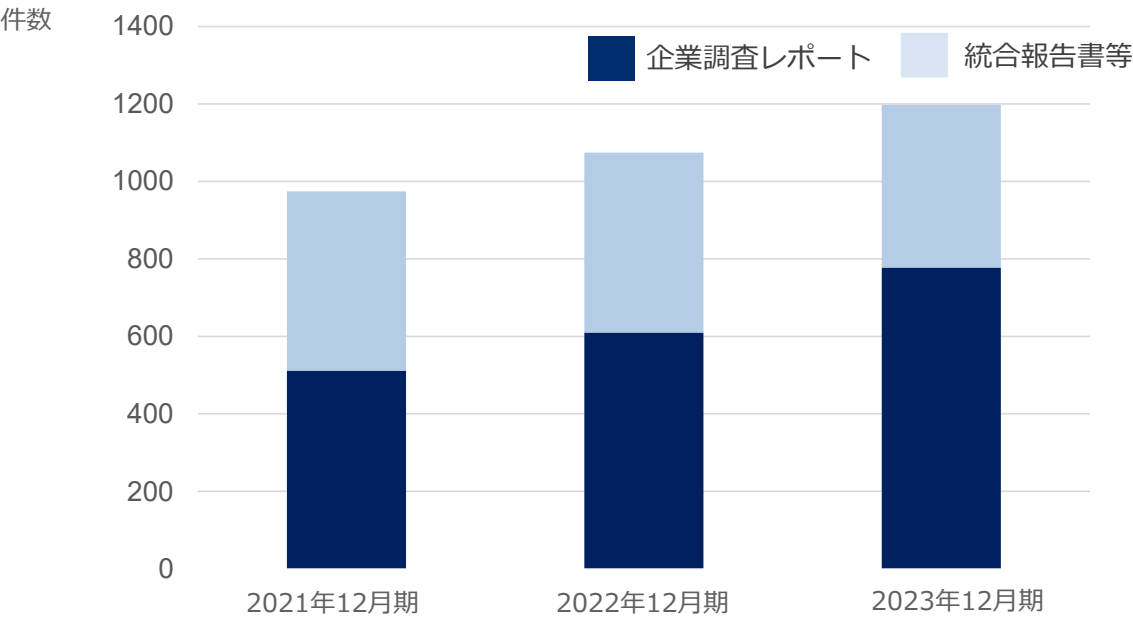
※配信先を常に増やしています。または変更になることがあります。
 ※LINE(ライン)については選別配信とさせていただいております。



事業概要：情報サービス（IR支援及びコンサルティングサービス）

企業調査レポートサービス
統合報告書／アニュアルレポート制作

中小型株の上場会社向けに、サービスニーズに応じて、日本語、英語等で分析レポート作成と投資家とのコミュニケーションツールとして、統合報告書やアニュアルレポート、情報開示資料の多言語化の支援サービスを当社配信ネットワーク上でも配信



企業調査レポート



半期 / 四半期毎にレポートを情報発信

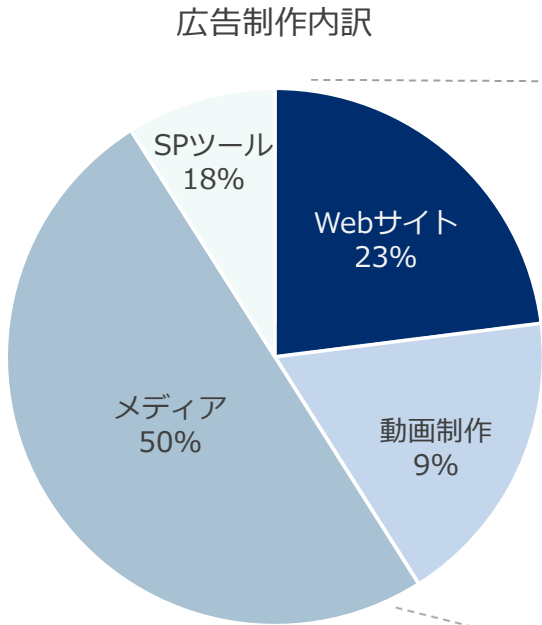
アニュアルレポート



事業概要：広告代理業

広告代理業

紙メディアを中心とする従来メディア活用から、広告動画制作などオンラインメディア活用のニーズをとらえ、ネット動画制作への取り組みを本格化し、オンライン広告に重点を置いた事業を展開



事業概要：暗号資産・ブロックチェーン事業

暗号資産・ブロックチェーン事業

暗号資産のトレーディングの他に、自社発行のフィスココイン（FSCC）の利便性および価値向上を目指し、様々な取り組みを実施

<FSCC利用の主な取り組み>

ClubFisco代金決済

レンディング

企業オンライン説明会での配布

エアドロップ

株主優待

Learn to Earnでの配布

暗号資産交換所
Zaifにて
「コイン積立」
「おてがるトレード」

ステーキング
・投資ツール開発支援
・保有者しか閲覧できない限定コンテンツ

フィスコウェビナー
参加者へ配布
・フィスコ相場徹底討論セミナー

FSCC保有者へ
フィスコ株の
新株予約権を付与

※FSCCは、2021 年12月期より、各事業年度における連結営業利益の額を上限として、以後5年間継続してバーン（焼却）を実施



CONTENTS

1 会社および事業概要

2 2023年12月期個別業績

3 成長戦略及び事業計画

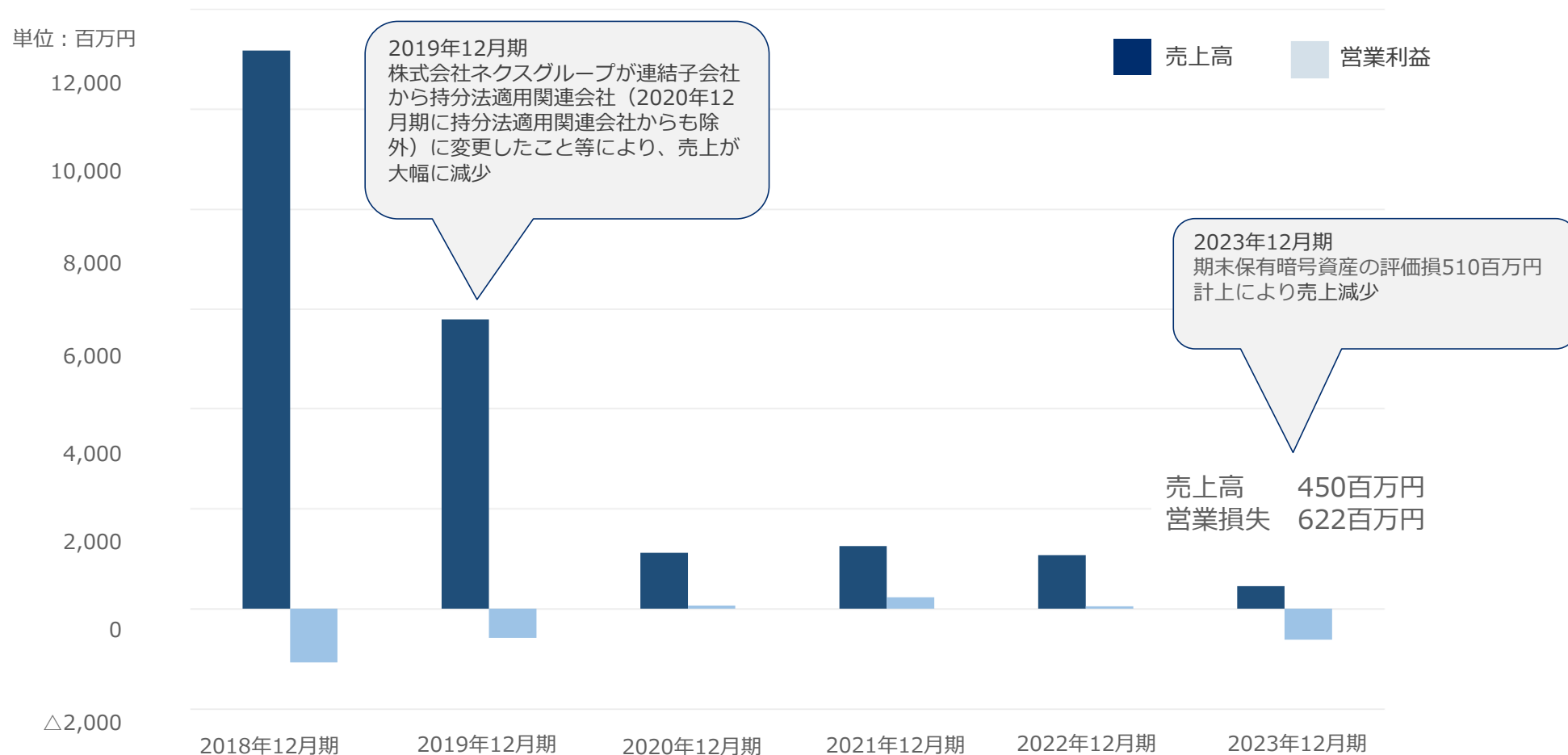
4 リスク情報

2023年12月期 個別業績ハイライト

- 期末保有暗号資産の評価損510百万円計上により、売上高は450百万円（前期比△57.9%）、営業損失は622百万円（前期営業利益46百万円）
- 投資有価証券評価損991百万円を特別損失に計上し、最終利益が△1,591百万円での着地
- セグメント別では、情報サービス業で前期売上を23.7%減、広告代理業で19.6減
- 自己資本比率13.7%に減少

※2023年7月1日付にて連結子会社であった株式会社フィスコ・コンサルティングを吸収合併したことにより、連結子会社がなくなることから、2023年12月期（通期）は個別決算による開示へ移行。前期比の前期は連結数字であります。

個別業績推移



※2023年7月1日付にて連結子会社であった株式会社フィスコ・コンサルティングを吸収合併したことにより、連結子会社がなくなることから、2023年12月期（通期）は個別決算による開示へ移行

2023年12月期 個別業績概要

保有する暗号資産の評価損510百万円計上により売上が減少、投資有価証券評価損を991百万円特別損失に計上した結果、当初業績予想を大きく下回る着地

単位：百万円

	2022年12月期	2023年12月期	対前年同期比		2023年12月期 業績予想（当初）	
	金額	金額	金額	増減率	金額	達成率
売上高	1,071	450	△620	△57.9	1,318	34.1%
営業利益	46	△622	△669	－	168	－
営業利益率	4.3%	－	－	－	－	－
経常利益	73	△537	△610	－	160	－
経常利益率	6.8%	－	－	－	－	－
当期純利益	△2,750	△1,591	1,159	－	157	－

※2023年7月1日付にて連結子会社であった株式会社フィスコ・コンサルティングを吸収合併したことにより、連結子会社がなくなることから、2023年12月期（通期）は個別決算による開示へ移行

2023年12月期 個別業績概要（セグメント別計画比較）

その他セグメントに含めている新規事業の投資銀行事業は好調だったものの、情報サービス事業、広告代理業、暗号資産・ブロックチェーン事業において当初業績予想を下回る結果

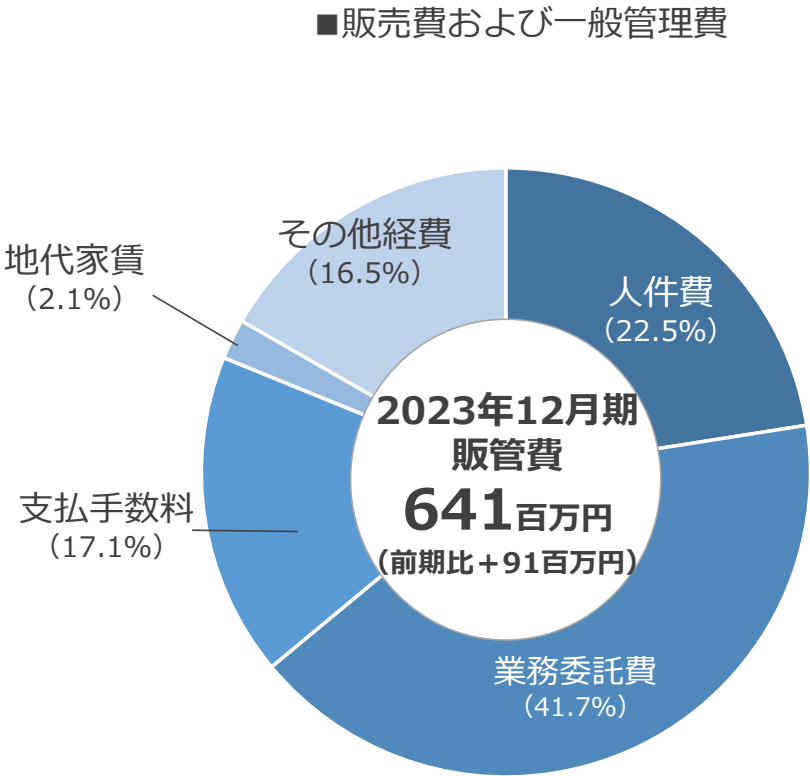
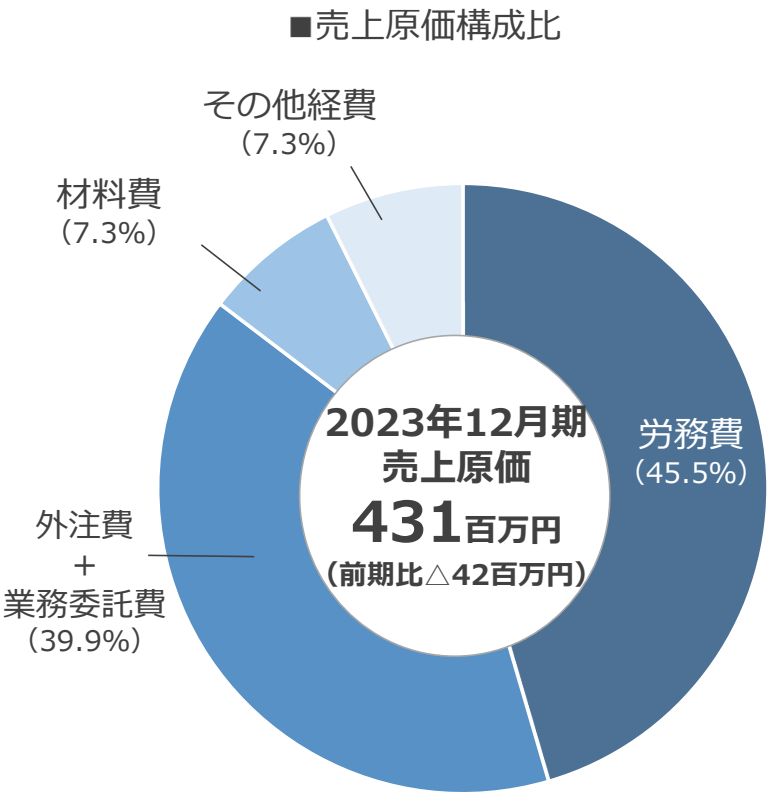
単位：百万円

	2023年12月期 (当初予想)	2023年12月期 (実績)	増減額
売上高	1,318	450	△868
情報サービス事業	1,267	848	△418
広告代理業	44	49	4
暗号資産・ブロックチェーン事業	0	△510	△510
その他	7	64	56
営業利益	168	△622	△791

- 情報サービス事業：売上、利益とも未達
- 広告代理業：ほぼ予定通りの推移
- 暗号資産・ブロックチェーン事業：保有する暗号資産の評価損などで売上高マイナス計上
- その他：投資銀行事業における新規事業売上の増加

2023年12月期 個別業績概要（売上原価及び販売費および一般管理費構成）

売上原価は前期より減少したものの、販売費および一般管理費は前期より増額



(注) 業務委託費にはシステム維持費を含んでいます

2023年12月期 個別業績概要（貸借対照表）

投資有価証券評価損を計上したことにより、前期比で総資産および純資産が大きく減少

単位：百万円

	連結貸借対照表		
	2022年12月期	2023年12月期	増減
流動資産	1,292	716	△575
固定資産	2,534	1,376	△1,157
資産合計	3,826	2,093	△1,733
流動負債	165	208	42
固定負債	1,597	1,594	△2
負債合計	1,763	1,803	40
純資産	2,063	289	△1,773
負債純資産合計	3,826	2,093	△1,733

負債比率

86.1% (前期46.0%)

自己資本比率

13.7% (前期53.7%)

※2023年7月1日付にて連結子会社であった株式会社フィスコ・コンサルティングを吸収合併したことにより、連結子会社がなくなることから、2023年12月期（通期）は個別決算による開示へ移行

CONTENTS

1 会社および事業概要

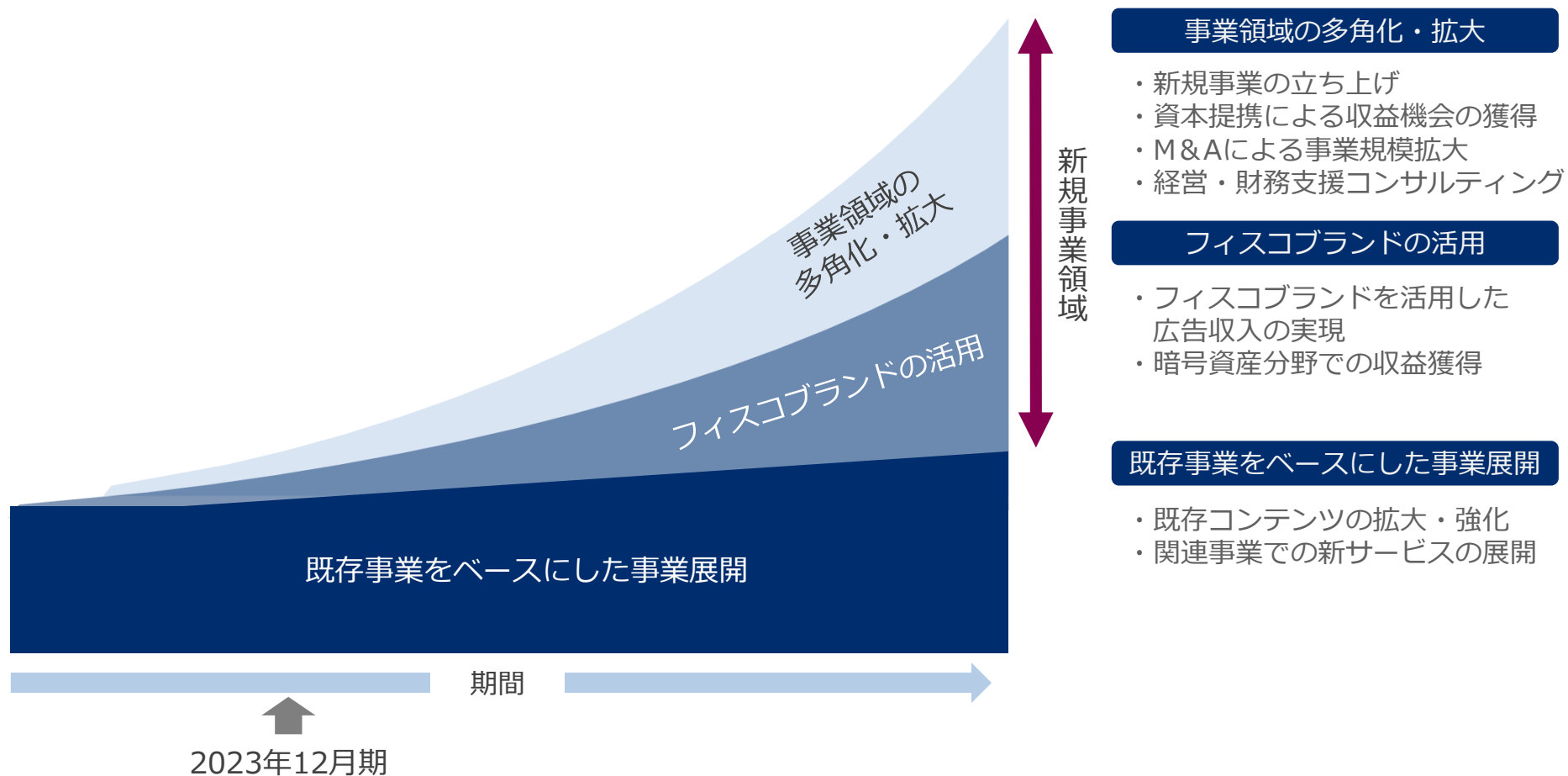
2 2023年12月期連結業績

3 成長戦略及び事業計画

4 リスク情報

中長期の成長イメージ

中長期的な成長目標として、既存事業をベースに、フィスコブランド活用並びに新規事業（M&Aの活用）により、事業規模拡大を目指す



中期の経営目標（KPI）

経営目標

1. 収益拡大のKPI

売上高：前期比15%増を達成

（2023年12月期実績 売上高：前期比57%減／保有暗号資産の評価損510百万円計上による影響）

営業利益率及び経常利益率：15%以上を達成

（2023年12月期実績 営業利益率△138%、経常利益率△119%）

2. 持続的成長のKPI

自己資本比率：60%以上を維持

IR支援件数：2026年12月期1,850件を目標

（2023年12月期はバーチャル株主総会の立ち上がりが遅れたため、目標であったIR支援企業数1,000社は未達
2024年12月期から目標を、IR支援企業数から、より投資家にわかりやすいIR支援件数に設定）

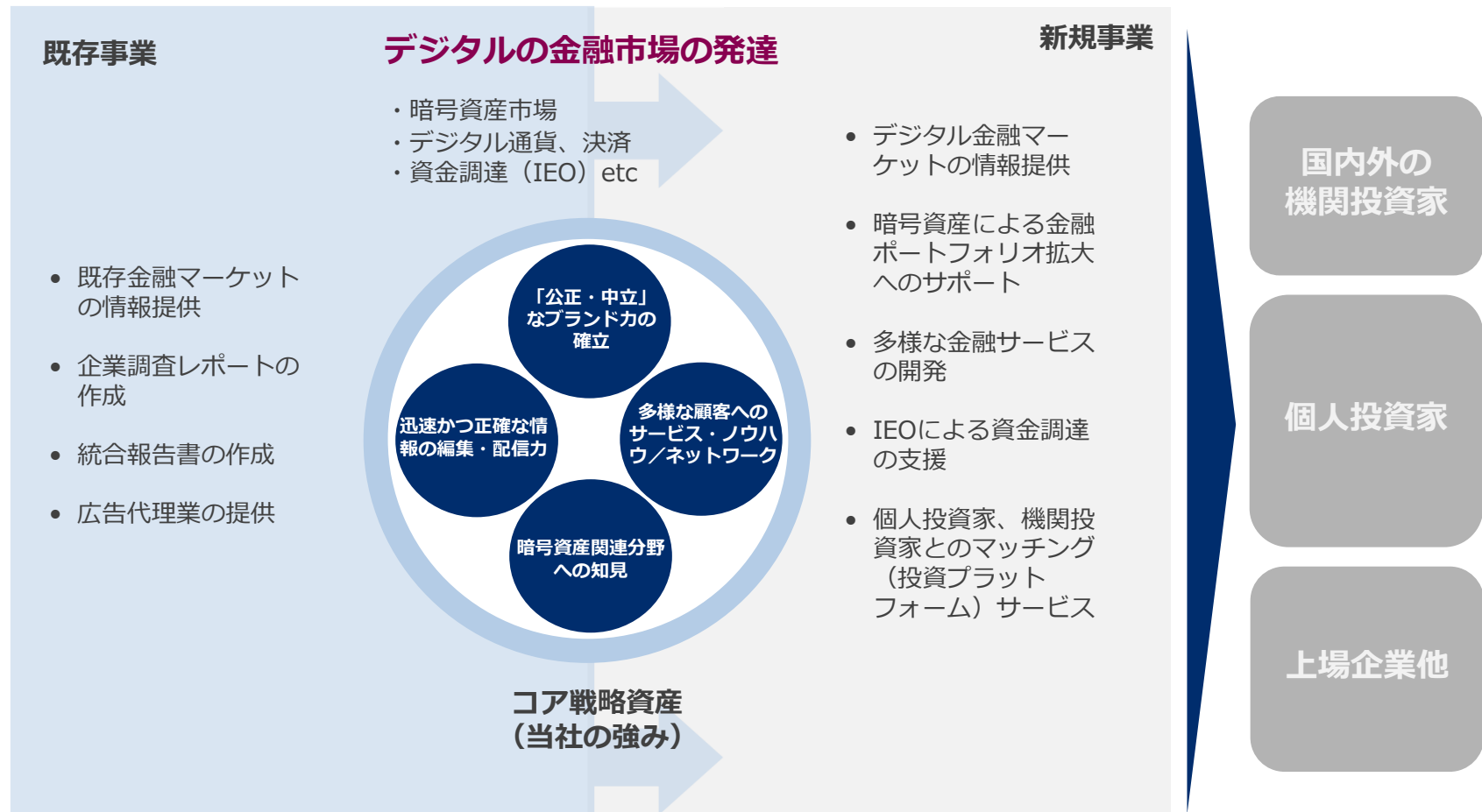
3. 配当方針：復配を目標

（2023年12月期実績 配当0円／内部留保の充実を図り配当原資を確保）

4. 株主優待：クラブフィスコIPOナビ（リミット）無料クーポン フィスココイン（FSCC）500円相当進呈を予定

競争力の源泉：コア戦略資産の事業展開

既存の事業分野におけるサービス提供を継続しつつ、培ったノウハウを転用し、新たにデジタル金融分野も含め、新規サービスの提供にチャレンジ



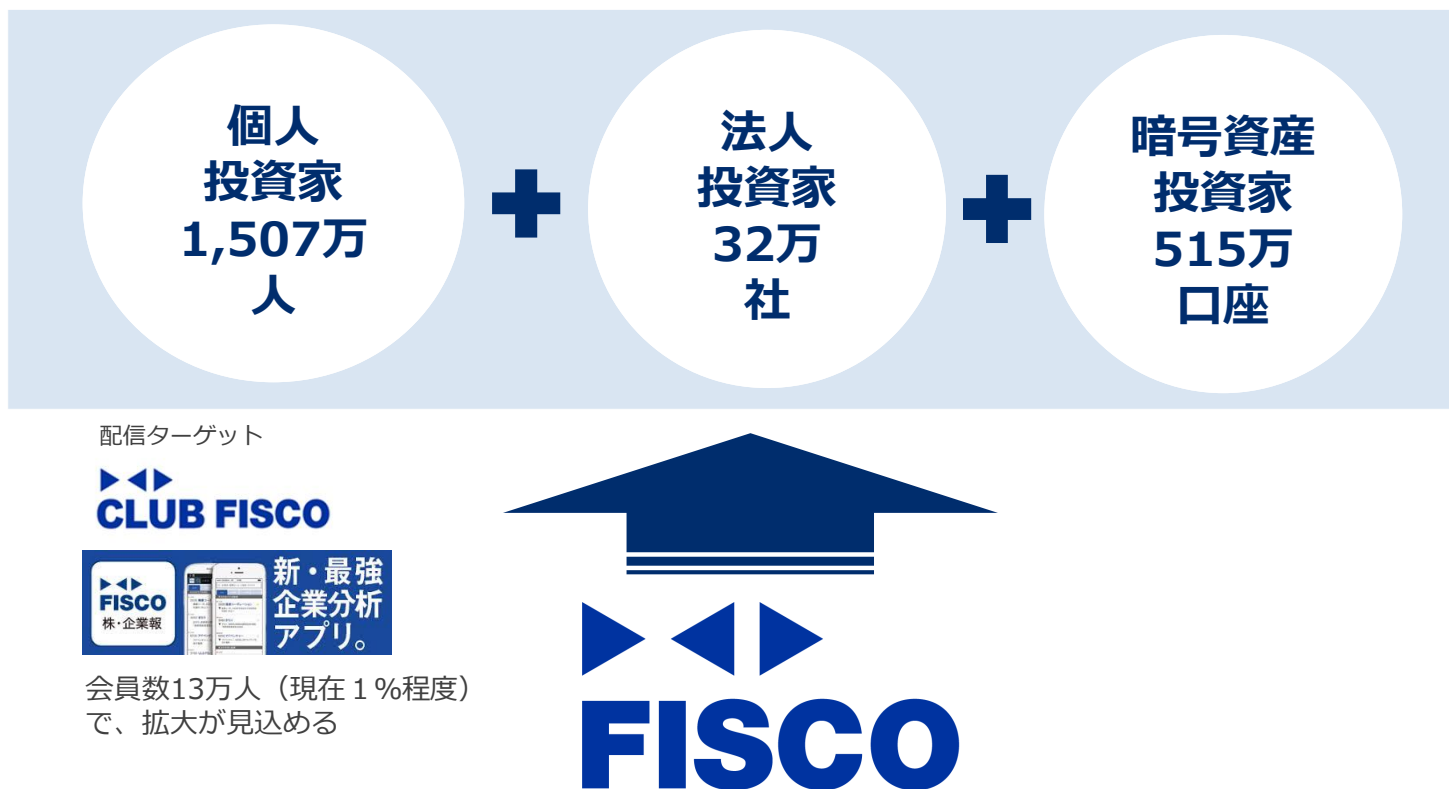
競争力の源泉：フィスコのネットワーク

既存の金融、新たなデジタル金融分野において、個人投資家、金融機関（機関投資家含む）、上場企業、情報提供端末および金融・経済ポータルサイトなど、投資関係分野に幅広いネットワークを有する



市場環境と成長可能性（金融・経済情報配信サービス）

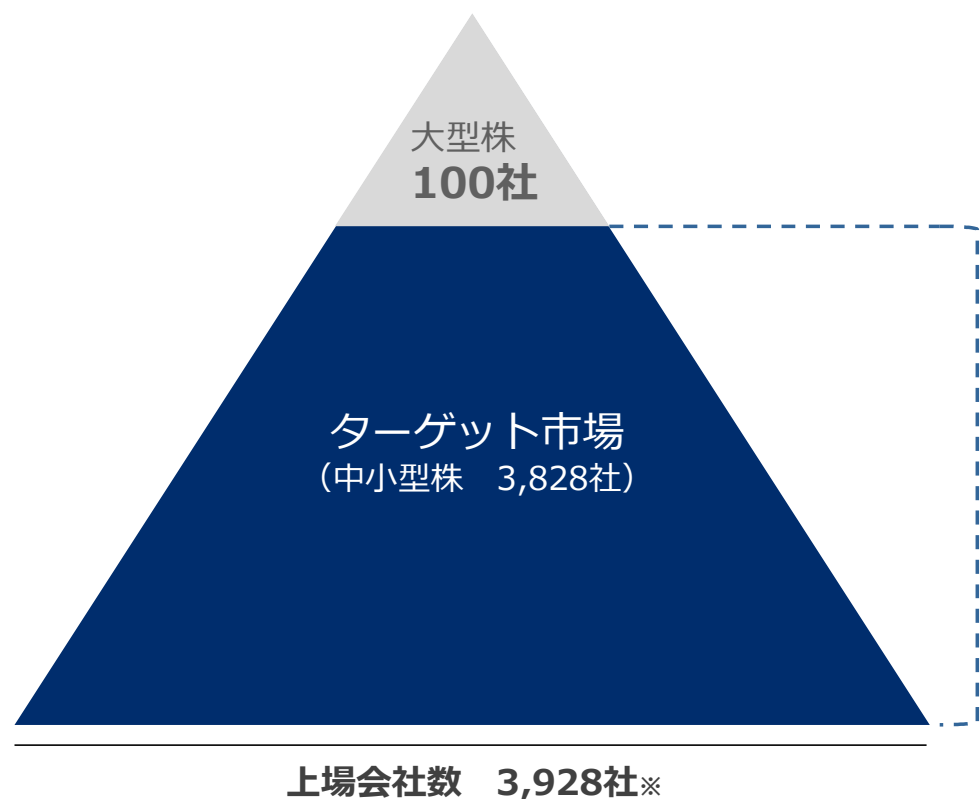
投資情報に加え、暗号資産関連投資情報を組み合わせることなど、投資家のニーズを捉えることで、十分な成長余地があると思われる



- ・一般社団法人日本暗号資産取引業協会 利用者口座数（うち稼働口座数） 5,155,016口座（2023年12月末）
- ・保振 株式等振替制度 株式5 属性別株主数状況（人数） 属性別株主状況（6か月累計）

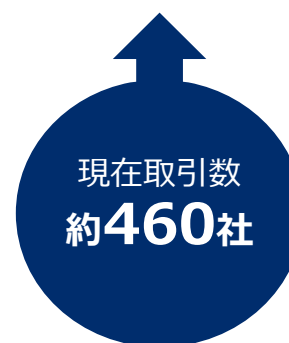
市場環境と成長可能性（IR支援及びコンサルティングサービス）

企業IR支援及びコンサルティング分野では、大手証券会社がカバレッジしていない上場会社をターゲットとし、レポート制作等ニーズの掘り起こしと事業拡大を図る



※日本取引所グループ 上場会社数2024年1月31日集計データ

2026年12月期に契約社数
1,000社を目標



組織力強化やブランドの強化と、IR支援業務の拡大を図る

企業調査レポートを中心に、フィスコWebなどでのプロモーションおよび企業IRのニーズを掘り起こすための営業強化を図る

市場環境と自社のポジショニング

創業以来続く、アナリストによる深い企業分析力と、様々なメディア、媒体を通して投資家等に情報を発信できる配信ネットワークを有しており、他社にはない当社の強み

			同業他社	
			IR制作受託 A社	IRコンサルティング サービス B社
統合報告書の制作に求められる要件	IIRCに基づく コンサルティング力	○	× (外注)	○
	制作力	○	○	× (外注)
	企業を見る分析力	○	×	△
	ステークホルダーへの配 信力	○	×	×

事業計画：既存事業をベースにした事業展開（金融情報配信サービス）

フィスコweb 株～企業報を中心に、新規コンテンツを追加し投資情報の充実を図っており、閲覧数の増加と広告収入の拡大を目指す

事業展開の方向性

- ・投資教育、金融・経済コンテンツサービス拡充
- ・日本国内および海外機関投資家向けコンテンツの拡大
- ・暗号資産関連の情報配信促進
- ・フィスコwebやクラブフィスコを活用してFSCCのバリューアップを図る

実施内容



- ・BTC現物売買モデルレポート販売
- ・企業調査レポート無料公開
- ・ステーキングコンテンツ拡充



- ・暗号資産コンテンツ拡充



- ・IR時系列一覧
- ・人気ニュース
- ・銘柄評価（銘柄カルテと理論株価）
- ・スクリーニング条件追加
- ・Learn to Earn実装

効果・検証

Learn to Earn実装によるフィスコweb利用者の増加、ステーキングコンテンツ拡充によりFSCC保有者数の増加につなげる

クラブフィスコの会員数の伸びは緩やかなものの、フィスコWebの新規機能追加に伴い、ページビュー数、前期比15%増

増加傾向が続いており、サイトでの広告掲載等を促進し、収益確保を目指す

事業計画：既存事業をベースにした事業展開（企業IR支援コンサルティングサービス）

企業IR支援業務として、配信プラットフォームを活用したサービス提供に注力しており、今後も支援企業数の増加を目指す

事業展開の方向性

- ・ オンラインIR説明会サービスの提供（小規模～大規模）
- ・ 株主優待サポートサービス
- ・ 機関投資家向けIR説明会・文字起こしサービス提供
- ・ バーチャル株主総会サービス
- ・ TCFD情報開示支援
- ・ ESGスコア・コンサルティング

株式会社 FISCO Decentralized Application Platform（FDAP）が提供する株主優待プラットフォームを利用し、サービスを提供

実施内容

- バーチャル株主総会導入事例 ■
 - ・ 株式会社QDレーザ
 - ・ 株式会社クシム
 - ・ 株式会社シーズメン
 - ・ 株式会社CAICA DIGITAL
 - ・ 株式会社ネクスグループ
- オンライン説明会導入事例 ■
 - ・ 株式会社アートネイチャー
 - ・ 株式会社アクアライン
 - ・ ユミルリンク株式会社
 - ・ 株式会社ビジネス・ブレークスルー
 - ・ テックポイント・インク
- 著名投資家とのIR説明会 ■
 - ・ RIZAPグループ株式会社
 - ・ 株式会社アピリッツ
 - ・ 株式会社ドラフト
 - ・ リックス株式会社

効果・検証

利用参加者に、フィスココインの配布などを行い、複数社のサービス導入を実現

引き続き、配信プラットフォームの活用とサポートサービスにも注力し、支援企業と収益の拡大を図る

事業計画：新規事業の取り組み（フィスコブランドを活用した各種プロモーション支援）

広告収入にも注力し、メディアサイト・コンテンツ制作企業との連携を拡大し、幅広い広告主へ訴求するなど、今後もブランド価値を活かせる事業を探求

事業展開の方向性

- ・フィスコブランドを活かして著名投資家との連携を図る

実施内容

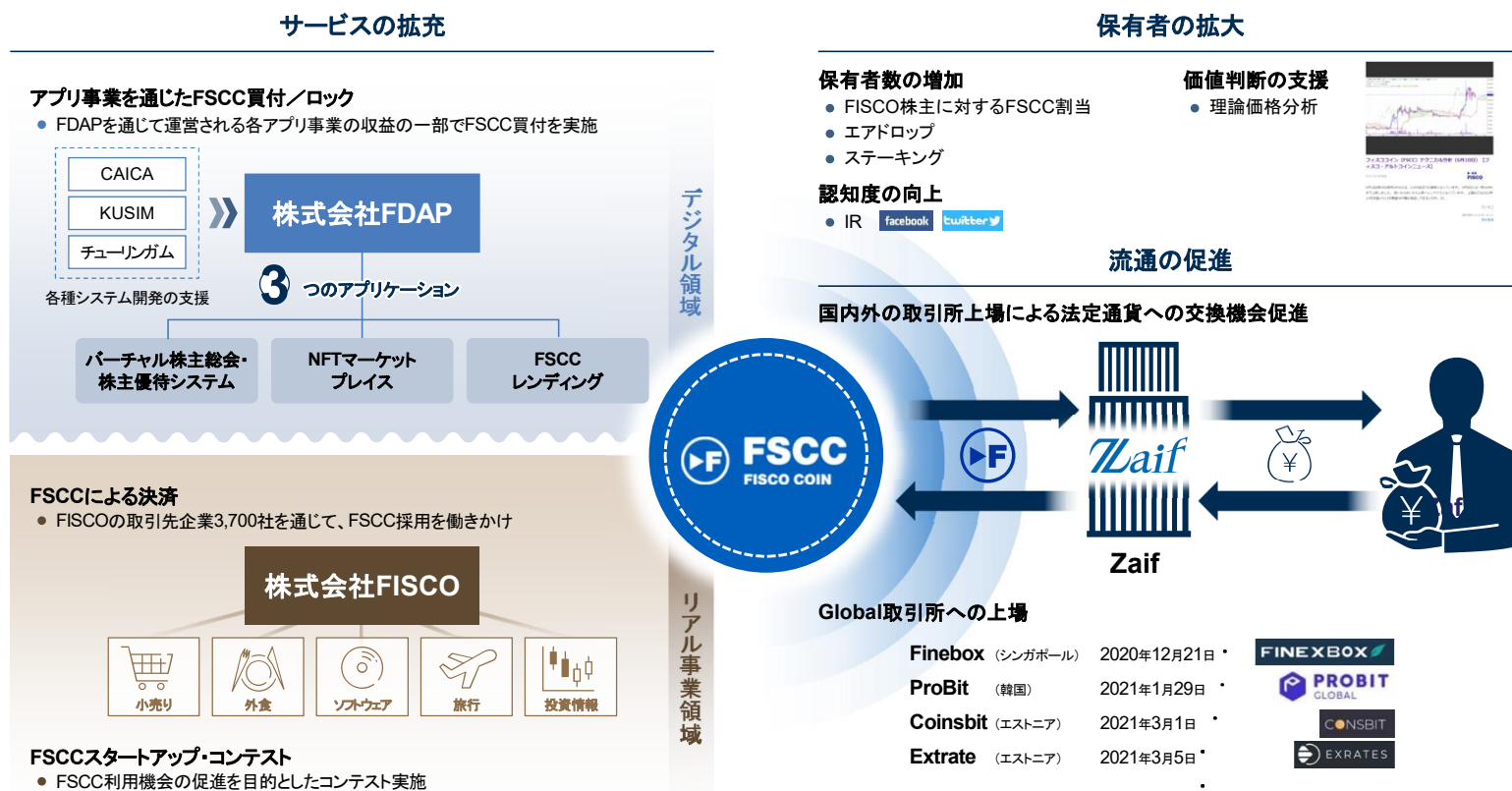
- ・外部有識者と協力して、投資教育教材等の個人投資家向け販売支援を実施

効果・検証

- ・フィスコブランドの再構築
今後、その他のメディアサイト
・著名投資家などとの連携を密に図り、複数のプロモーション支援を同時に進行

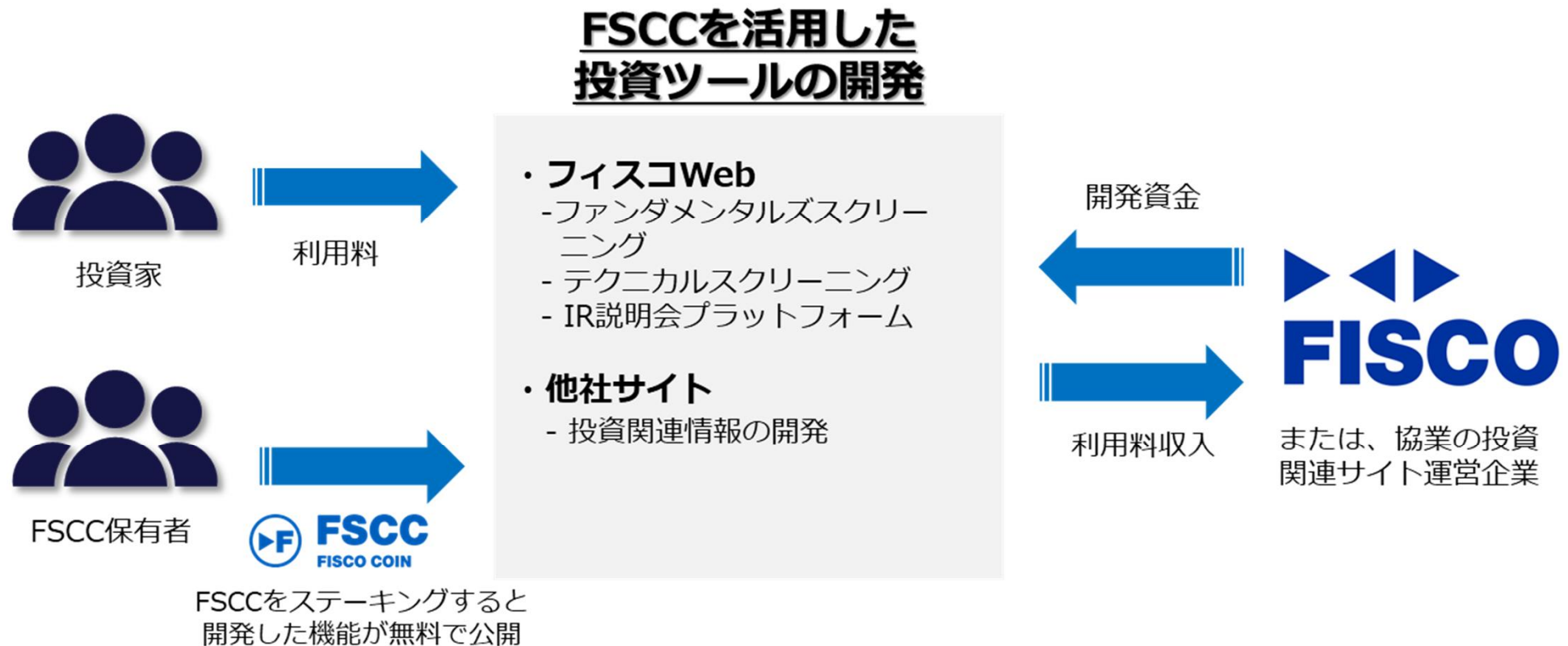
事業計画：フィスココインの活用

暗号資産フィスココイン（FSCC）経済圏の拡大およびFSCCの価値向上を通じて、フィスコの企業価値の向上を目指す



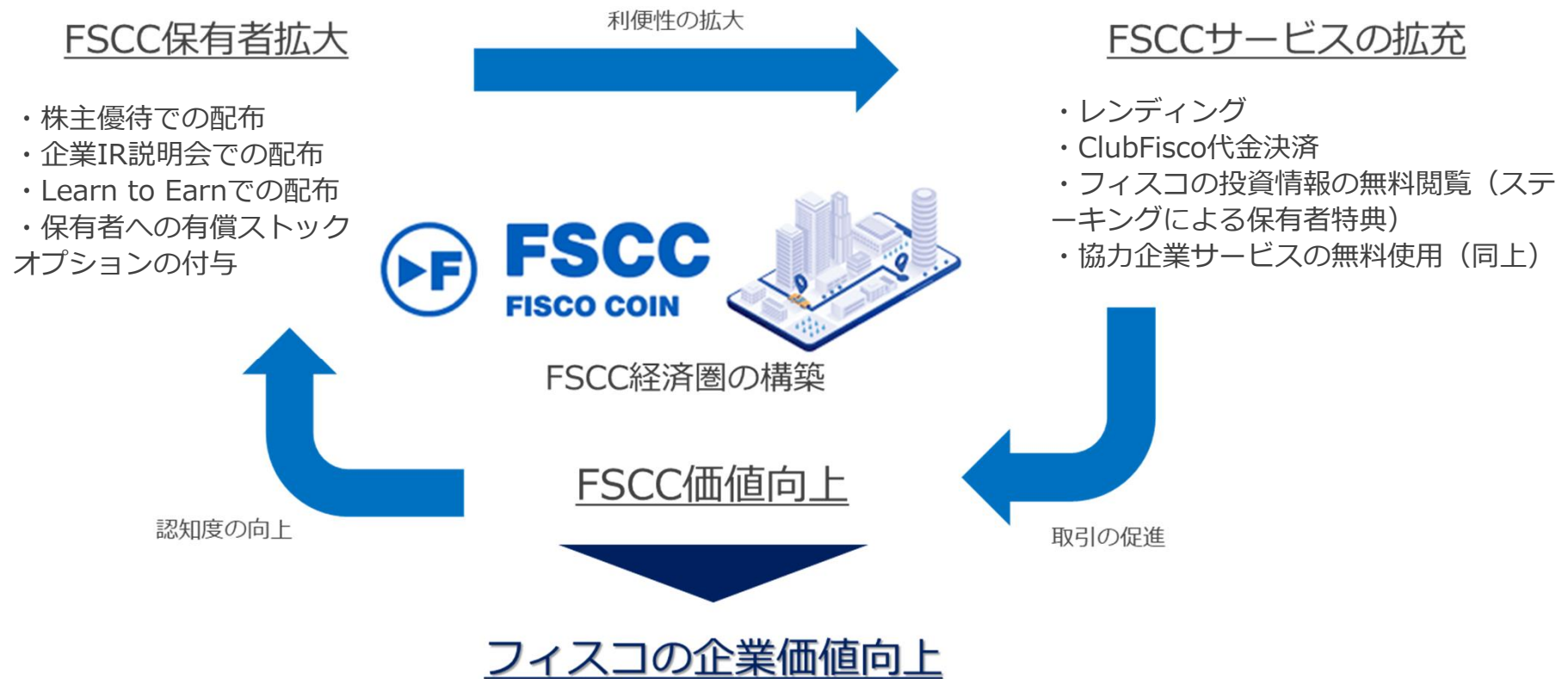
事業計画：フィスコwebの新機能Learn to Earnとフィスココインステーキングの開始

フィスコwebがFSCC経済圏と融合することにより、より多くの投資家の集客、より厚みのあるIR支援を目指す



事業計画：FSCCの価値向上のために経済圏を構築

業績の向上及び株主優待FSCCの増額を継続することで、FSCCの利用拡大やFSCCの価格上昇が繰り返されるループを目指す



事業計画：FSCCレンディングによる保有者の複利効果促進

FSCCレンディングの2024年末のKPIは既に達成。2021年に策定した目標では、2024年末に420,000FSCC、2025年末に540,000枚を掲げており、レンディング枚数は2024年2月現在で459,852FSCCとなっている。



■浮動枚数について

2月14日時点のFSCCの保有者分布は以下の通りになります。

- ・自己保有分：（37.7%、18,742,551FSCC）：フィスコ保有の未流通コインを含む枚数。
- ・戦略投資家保有分：（45.9%、22,771,335FSCC）：FSCC 経済圏拡充のパートナー。
- ・一般投資家保有分：（16.4%、8,149,489FSCC）：上記以外の保有分。

※FSCCレンディングを活用することで、売買による差益を得る（キャピタルゲイン）だけでなく、レンディングサービスを利用することによって貸借料を得る（インカムゲイン）を獲得できる。

2024年12月期 業績予想

- 売上高の増加率に重点を置き、営業力強化を図り、KPIの達成を目指す
- ・ 売上比率を伸ばしている広告収入のノウハウを生かした他社サイト運営支援の拡大を図り、目標未達分の営業利益率、経常利益率の達成を目指す
 - ・ 企業IR支援業務の強化およびバーチャル株主総会、株主優待サポートサービス提供による新たな収益の確保を図る

単位：百万円

	2023年12月期 (実績)	2024年12月期 (計画)	増減額	増減率
売上高※1	450	1,177	727	161.3%
営業利益	△622	49	672	—
経常利益	△537	49	587	—
当期純利益	△1,591	46	1,637	—

単位：百万円

保有暗号資産	金額
フィスココイン (FSCC)	103
カイカコイン (CICC)	129
スケブコイン (SKEB)	40
その他	0
合計	273

※1 暗号資産取引相場の動向に影響を受け、業績予想が困難なため、連結業績予想には織り込んでおりません

経営指標

当社は、高付加価値による収益性の高い企業グループを目指しており、収益拡大と持続的成長の競争力を高めるため、資本効率を意識した経営に取り組んでおります

1. 収益拡大のKPI：売上高、営業利益率、経常利益率
2. 持続的成長のKPI：自己資本比率、IR支援企業数

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期 (予想)
売上高	1,252百万円	1,071百万円	450百万円	1,177百万円
営業利益率	18.1%	4.3%	-	4.2%
経常利益率	19.1%	6.8%	-	4.2%
自己資本比率	67.1%	53.7%	13.7%	15.5%
IR支援契約企業数	375社	545社	458社	-
IR支援件数※2	974社	1,074社	1,197社	1,380社

※1 2023年7月1日付にて連結子会社であった株式会社フィスコ・コンサルティングを吸収合併したことにより、連結子会社がなくなることから、2023年12月期（通期）は個別決算による開示へ移行

※2 2024年12月期から目標を、IR支援企業数から、より投資家にわかりやすいIR支援件数に設定

KPI等の進捗状況を含む最新の内容について、次回は年度決算後3月ごろにご報告を予定しております。

CONTENTS

- 1 会社および事業概要
- 2 2023年12月期連結業績
- 3 成長戦略及び事業計画
- 4 リスク情報

リスク情報：認識するリスク、リスク対策（1/2）

項目	影響する事業セグメント	主要なリスク	顕在化する可能性／時期	顕在化した際の影響度	リスク対応策等
事業環境の変動	情報サービス事業	株式や為替等の金融商品市場が急激に変動、サービス提供方法の多様化に対応できず、当社グループが提供するサービスが顧客のニーズにマッチできなくなる可能性	低／中長期	大	金融商品市場の変化に応じた関連サービスを多角的に展開することにより対応
法令遵守違反および情報の漏洩等	情報サービス事業	お客様等のプライバシーや信用に関する情報（個人情報を含む）、企業等の情報が誤ってまたは不正により外部に流出する可能性	低／中長期	大	関連法令・規制、情報取り扱いに関する定期的な社員研修およびコンプライアンスチェック体制により対応
人的資源への依存	情報サービス事業	優秀な人材の退社等によりノウハウや技術が流出した場合や継続して優秀な人材を養成・確保できない可能性	中／中長期	大	社内育成の他、外部アナリスト等の活用を行い、提供するサービスの品質を維持する
システムトラブル	情報サービス事業	自然災害、火災・事故、外部からの不正な手段によるサーバーへの侵入等により、重要な基幹システムに障害が発生する可能性	低／不明	大	システム監視体制の強化、電源や機器とプログラムの二重化、ファイアウォール設置と第三者によるその監視により対応
特定取引先への依存	情報サービス事業 広告代理業	特定の取引先による売上が高い割合を占めており、特定取引先との取引に何らかの支障が生じる可能性	低／中長期	大	当該特定取引先以外の取引先の開拓に努めており、依存度を低減するよう多角的なサービス提供により対応

有価証券報告書の「事業等のリスク」に記載の内容のうち、成長の実現や事業計画の遂行に影響する主要なリスクを抜粋して記載
その他のリスクは、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください

リスク情報：認識するリスク、リスク対策（2/2）

項目	影響する事業セグメント	主要なリスク	顕在化する可能性／時期	顕在化した際の影響度	リスク対応策等
収益構造が下半期偏重型	情報サービス事業	主要顧客先である事業会社の多くが3月決算の会社であり、当社の上半期においては、契約の解約が発生する可能性	中／中長期	中	複数の事業展開により、顧客動向に影響を受けないサービスを提供することで対応
投融資	情報サービス事業	投融資先の事業の状況により、投融資額を回収できない可能性	低／中長期	中	M&A等投融資の際に、案件に対しリスクおよび回収可能性を十分に事前評価することで対応
暗号資産の価格変動	暗号資産・ブロックチェーン事業	様々な要因に基づく、暗号資産の価格変動により、当社保有の暗号資産運用に影響を及ぼす可能性	中／不明	中	暗号資産市場の変化に応じて、運用する暗号資産の取引量をコントロールすることで対応
新型コロナウイルス感染症	情報サービス事業 広告代理業	新型コロナウイルス感染症の長期化、緊急事態宣言の発令による、顧客企業の事業活動や外出自粛等による業績悪化の可能性	中／中長期	中	在宅勤務およびWeb会議の推奨により、業績への影響を最小限に抑える

有価証券報告書の「事業等のリスク」に記載の内容のうち、成長の実現や事業計画の遂行に影響する主要なリスクを抜粋して記載
その他のリスクは、有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください

本資料の取り扱いについて

本資料の取り扱いについては、株式会社フィスコに関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。

これらの記述は、当社が本資料の作成時点において入手した情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。

これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、統合レポート等をご参照ください。